

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	電子工学専攻		
担当教官名	専攻主任		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>「大学院インターンシップ」は、科学技術教育の一環として大学が産業界の協力を得て行う実習・研修の就業体験であり、次のような趣旨で行う。</p> <p>(1) 研究・技術開発及び生産の実際に関心と興味を深め、創造性や自主性を備えた人材の育成を図る。</p> <p>(2) 研究・技術開発と経済性、作業と安全とは一体不可分のものであることを体得せしめる。</p> <p>(3) 研究・技術開発の実際問題に当面させ、その解決を図る技能を養う。</p> <p>(4) 将来、研究者や技術者として活動するときの心構え抱負を養う。</p> <p>(5) 企業等の現場において就業体験を積むことで、科学技術教育の意義と重要性を理解させる。</p> <p>(6) 自己の職業適性や将来設計について考える機会を与え、自主的な職業選択や高い職業意識を身につける。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
<p>特になし。</p> <p>但し、インターンシップ先での仕事内容に応じて、電気回路、電子回路、プログラミング等の基礎知識が要求されることがある。</p>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
<p>特になし</p>

<b>【教科書等】</b>
<p>なし</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

- (1) 教育内容: 理工系業務、できれば研究・開発業務を体験する。
- (2) 時 期: 原則として博士前期課程1年次の夏期休業期間中
- (3) 期 間: 連続4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。
- (4) 成績評価: 成績(2単位分)は優良可不可で、後学期分として付与する。
- (5) 事故・災害・傷害保障: 入学時に加入の「学生教育研究災害傷害保険」(略称: 学研災)が適用される。加入済みであることを学生課窓口で確認しておくこと。
- (6) 損害賠償責任: 「学研災付帯賠償責任保険」に、学生課窓口で必ず加入する。
- (7) 実施先の選定
  - [1] 大学からの推薦(共同研究センター経由での募集)
  - [2] 公募(企業へ学生が直接応募: 但し、インターンシップ担当教官とも連絡をとっておくこと。)

### 【成績評価方法および評価基準】

実習先責任者からの「大学院インターンシップ修了書」、履修者からの「大学院インターンシップ報告書」に基づき総合評価する。

### 【オフィスアワー: 授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

インターンシップは、短期間ではありますが、実社会における技術者の仕事や役割を実地に体験し知ることができる貴重な機会です。是非、この機会を活用して下さい。

【補足】インターンシップの具体的実施に際しては、共同研究センターのインターンシップ担当者にお世話になっています。連絡先を下記に示します。

中野 喬 客員教授、小峯名保美(事務) 共同研究センター  
Tel:0424-43-5723, E-Mail:intern@crc.uec.ac.jp